

令和5年度 曾於市商工会 経営発達支援計画 事業評価委員会 評価報告書

NO.1

1.地域の経済動向調査に関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
①国が提供するビッグデータの活用	令和5年度については本項目の事業は実施していません。	目標設定	目標	実績	評価	D	<ul style="list-style-type: none"> ・景況調査はしているが、目標のHP報告が出来ていないので評価はD ・令和6年度はHP掲載をするように。 	
内容 次の項目の調査分析「人口マップ」、「地域経済循環マップ」、「まちづくりマップ・F3m-to分析」、産業構造マップ」を行い公表する。		HP掲載数	1	0	D			
②景気動向分析	令和6年2月に曾於市内7業種21企業の景況調査を実施し、曾於市にデータを提供しました。HPの公表は行っていません。	目標設定	目標	実績	評価	C		
内容 管内小規模事業者40社(6業種)売上高、仕入価格、経常利益、資金繰り、設備投資、雇用、今後の見通し等の調査を行い地域経済の景況感を調査する。		HP掲載数	1	0	C			
2.需要動向調査に関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
①物産展 来場者へのアンケート調査	令和5年10月11日～12日にかけて実施した「かご市 曾於市フェア」で実施しました。サンプル総数は25件ありました。分析については鹿児島大学と共同では行っていません。	目標設定	目標	実績	評価	D	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の実施以外は実績がない為に評価はD ・アンケート調査の結果について、データを出品者へフィードバックするように。 ・曾於市のブランド認証が令和3年度より開始しているため、該当事業者への申請支援等に力を入れるように。 ・うまSooフェス出品後の広報や販路開拓に観光協会と協力し合って進めて欲しい。 	
内容 「商工会こだわりの逸品フェア」と「曾於市フェア」にて、物産展出店事業所の商品やサービスについてアンケート調査の実施。分析は鹿児島大学と協同で実施する。		アンケート調査数	10	25	A			
②新商品開発の調査	特産品開発については特産品振興を行う曾於市観光協会の協力を仰ぎ、特産品開発に関するセミナー2回行いました。内容はお土産品等の商品開発に関するセミナーと地元名産の料理メニュー開発に関するセミナーです。具体的な商品開発は行っていませんが、情報収集の為の取り掛かりに関する事業を行いました。	目標設定	目標	実績	評価	D		
内容 飲食・食品製造業者と曾於市の特産品「ゆず・黒豚・薩摩鴨・お茶・その他の農産物」を活用した新規メニューや特産品を開発する。完成したものについて、曾於市内に存する3か所の道の駅において、試食及び来場者アンケートを実施。		実施事業者数	3	0	D			
③鹿児島県商工会連合会「かご市」のインキュベーションショップ事業の活用	令和5年度については本項目の事業は実施していません。	目標設定	目標	実績	評価	D		
内容 ②で開発した商品を鹿児島県商工会連合会の事業である「かご市」インキュベーションショップ事業でチャレンジ商品として出展し、消費者の声や専門家の評価を出展事業者へフィードバックする。		実施事業者数	3	0	D			

3.経営状況の分析に関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
経営指導員による小規模事業者の経営分析	<p>令和5年の小規模事業者の経営分析について下記の通りです。</p> <p>小規模持続化補助金31件、その他の国・県・市（新規就業者支援事業）補助金18件、マル経融資23件において経営分析を行っています。合計 72件となります。</p>	目標設定	目標	実績	評価	評価	<p>A</p> <p>・目標値を超えているのでA評価 ・前年度と比較しても増えている。</p>	
内容		経営分析 事業者数	60	72	A			
経営指導員が巡回等において小規模事業者の経営状況や問題点をヒアリングし、また各社の財務諸表をベースに収益性・安全性・生産性・活動性・成長性等の定量分析を行う。								
4.事業計画策定支援に関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
①「DX推進セミナー・IT専門家派遣」の開催	<p>下記のセミナーを開催しました。</p> <p>令和5年11月21日にHP作成セミナー（集団）</p> <p>令和5年12月13日にHP作成個別セミナー</p> <p>合計2回セミナーを実施しています。</p>	目標設定	目標	実績	評価	評価	<p>A</p> <p>・事業計画策定事業者数は目標に達していないが、計画以上にセミナーを開催しているので評価をAにした。</p>	
内容		セミナー開催数	2	2	A			
DXに関する意識の醸成や基礎知識を習得するため、また実際にDXに向けたITツールの導入やWebサイト構築等の取組を推進していくために、セミナーを開催する。								
②事業計画策定セミナーの開催	<p>下記のセミナーを開催しました。</p> <p>令和5年8月18日 事業計画作成セミナー 講師 長友 太 氏</p> <p>令和5年11月20日 事業計画作成セミナー 講師 長友 太 氏</p> <p>令和5年11月27日 事業計画作成セミナー 講師 長友 太 氏</p> <p>令和6年3月5日事業計画作成セミナー 講師 長友 太 氏</p> <p>合計4回21事業者が受講しました。補助金の個別相談で事業計画を策定し、令和5年度は56件の事業計画策定支援を行っています。</p>	セミナー開催数	2	4	A			
内容		事業計画策定 事業者数	30	21	B			
5.事業計画策定後の実施支援に関すること								
5.事業計画策定後の実施支援に関すること	<p>令和4年度と令和5年度に申請した持続化補助金を始めとした各種補助金について、その後の巡回・窓口指導の件数を積算しました。各補助金の事業計画書を作成して申請した補助金の採択結果後の指導件数です。</p> <p>令和4年度 16事業所</p> <p>令和5年度 60事業所</p>	目標設定	目標	実績	評価	評価	<p>A</p> <p>・事業所数と指導延回数は目標に達している。売上と粗利益の増加事業所数は効果に時間がが係る場合も多いと考え。相対的にA評価とする。</p>	
経営指導員による小規模事業者の経営分析		フォローアップ 事業者数	60	60	A			
内容		指導延回数	230	300	A			
事業計画を策定した全ての事業所を対象とする。対象事業所には月に1回の巡回指導15社×12回を原則とするが、事業計画の進捗状況や実施難易度、取組意欲に応じて巡回頻度を変更し、四半期に1回10社×4回、半期に1回5社×2回の指導として対応する		売上3%以上増加 事業所数	5	3	C			
		粗利益率2%以上増加 事業所数	6	1	C			

6.新たな 需要の 開拓に 寄与する 事業に関すること		実施状況	事務局評価			事業評価委員会評価	
①商工会主催の物産展「曾於市フェア」事業BtoC	<p>令和5年度はかごしま特産品市場で「かご市曾於市フェア」を令和5年10月11日～12日に開催しました。預り販売形式で行い、出品事業所は8事業者です。</p> <p>「かごしま特産品市場かご市」と「イオンモール都城駅前」にて、それぞれ年1回物産展を開催する。</p>	目標設定	目標	実績	評価	評価	
内容		出展 事業者数	14	8	C	C	
「かごしま特産品市場かご市」と「イオンモール都城駅前」にて、それぞれ年1回物産展を開催する。		売上額／者 (万円)	10	0.7	D	・売上目標は達成できていないが、出品者が50%超えているのでC評価。イオン鹿屋での無料開催ができるので検討してみてもどうか。	
②商談会参加事業BtoB	<p>令和5年11月14日～15日に開催されたフードスタイル九州に小規模事業者から1者参加しました。曾於市の補助事業により小規模事業者以外から1者参加しました。</p> <p>FoodStyle inFukuokaに食品製造業者から2者を選定し参加の支援を行う。</p>	参加 事業者数	2	1 (1)	C	評価	
内容		成約件数／者 (件)	2	0	D	・曾於市の補助事業で出展者合もおり、トータルでは成約数もあるのでC評価	
③SNS活用	<p>令和5年度については本項目の事業は実施していません。</p> <p>現状の顧客が近隣の商圏に限られていることから、より遠方の顧客の取り込みのため、取り組みやすいSNSを活用し、宣伝効果を向上させるための支援を行う。</p>	SNS活用事業者	10	0	D	評価	
内容		売上増加率／者 (%)	5	0	D	D	
現状の顧客が近隣の商圏に限られていることから、より遠方の顧客の取り込みのため、取り組みやすいSNSを活用し、宣伝効果を向上させるための支援を行う。						・実績なしの為D評価。	
④ECサイト活用 (BtoC)	<p>令和5年度については本項目の事業は実施していません。</p> <p>かごしま特産品市場 (かご市が運営するショッピングサイト)への出展の提案を行い、出展事業者には効果的な商品紹介のリード文・写真撮影、商品構成等の伴走支援を行う。</p>	ECサイト利用事業者数	5	0	D	評価	
内容		売上増加率／者 (%)	5	0	D	D	
かごしま特産品市場 (かご市が運営するショッピングサイト)への出展の提案を行い、出展事業者には効果的な商品紹介のリード文・写真撮影、商品構成等の伴走支援を行う。						・実績なしの為D評価。	
⑤自社HPによるネットショップ開設 (BtoC)	<p>自社ECサイトの立ち上げ支援実績が令和5年度に1件あり、売上増加率は初年度の為に前年度と比較できませんでした。また、個別相談においてminneでハンドクラフト商品販売事業者へ、自社ECサイトの立ち上げについて説明しました。</p> <p>ネットショップの立ち上げから、商品構成、ページ構成、PR方法等WEB専門会社やITベンダーの専門家と連携し、セミナー開催や立ち上げ後の専門家派遣を行い継続した支援を行う。</p>	ネットショップの開設者数	2	1	C	評価	
内容		売上増加率／者 (%)	5	0	D	C	
ネットショップの立ち上げから、商品構成、ページ構成、PR方法等WEB専門会社やITベンダーの専門家と連携し、セミナー開催や立ち上げ後の専門家派遣を行い継続した支援を行う。						・ネットショップ開設者数は50%であるが、売上増加率は実質0である。但し効果が時間がかかる場合も多いと考え相対的にC評価とする。	

7.事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
事業評価委員会による事業の見直し及び評価報告	令和5年度は実施しました。その後、評価結果を理事会で報告後、商工会HPで公表します。	目標設定	目標	実績	評価	評価	令和5年度分は今回実施したので評価Aとする。理事会報告後HP掲載	
内容		委員会開催数	1	1	A	A		
事業評価委員会により年に1回経営発達支援事業の進捗状況の評価を行う。報告内容については、実施数、参加者数、成約数等の数値(定量的)での報告と、効果(定性的)を必ず盛り込むこととする。		HP公表数	1	1	A	A		
8.経営指導員等の資質向上等に関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
①外部講習会等の積極的活用	令和5年度は実施しました。経営指導員・経営支援員共に県連研修に出席しました。	目標設定	目標	実績	評価	評価	③全職員ミーティングの開催以外は目標に達しており、指導員会議の毎週開催で支援員にも情報共有できているので相対的にA評価。	
内容		指導員研修支援員研修参加数	4	4	A	A		
②DX推進に向けたセミナーの受講	会員向けセミナーに商工会職員も参加しました。また、県連の経営指導員向けの研修で「デジタル化支援のための実践研修」のカリキュラムがありました。	-	-	-	A			
内容								
③職員間の定期ミーティングの開催	経営指導員会議を基本は毎週月曜日に開催しました。経営指導員と経営支援員が参加する職員ミーティングは2回開催しました。	職員ミーティングの開催数	12	2	C			
内容								
④データベース化	商工会の指導内容を記録するシステムである、小規模事業者支援システムを職員が入力し支援事例のデータを蓄積しています。	-	-	-	A			
内容								
9.地域経済の活性化に資する取組に関すること		実施状況		事務局評価			事業評価委員会評価	
「曾於市地域経済活性化検討委員会」の運営	令和5年度曾於市地域経済活性化委員会は開催していませんが、別紙資料の通り各種事業を行いました。	目標設定	目標	実績	評価	評価	コロナ禍後に各種事業は行っているが、委員会の実績0の為にD評価	
内容		委員会開催数	3~5	0	D	D		
地域の方向性や特産品開発、地域おこし、観光振興等を含めた地域のブランド化・賑わいの創出による地域経済の波及効果のある事業等を検討・実施する為に委員会を開催する。		成果公表数	-	-	D	D		